

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

メキシケム ジャパン株式会社 三原製造所

(2) 事業所の所在地

広島県三原市円一町一丁目1番1号

(3) 業種

1632 脂肪族系中間物製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度を基準年度とし、平成27年度から平成31年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

メキシケム ジャパン(株)三原製造所は、以下の帝人(株)三原事業所環境方針に則って活動を行う。

1. 環境関係法令および組織が定めた規則、協定を遵守する。
2. 「地球環境にやさしい事業所」を目指し、汚染の予防を含めた環境保全活動に取り組み、健全な環境の向上に努めると共に、環境問題ゼロを維持する。
 - (1) 地球温暖化防止に積極的に取り組み、CO2排出削減を実施する
 - (2) 危険・有害な化学物質の環境への排出を削減する
 - (3) 産業廃棄物のリサイクルとゼロエミッションの維持向上を行う
3. 環境目的・目標を定め、その実現を図ると共に定期的に見直しを行い、継続的改善を推進する。
4. 本方針は、事業所活動の根幹をなすものであり、全従業員および構成員が本方針に沿って行動するよう教育を行い、あわせて外来者への周知に努める。
5. 環境方針は文書化し、社外から要求があれば公開する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成25年度	平成26年度
二酸化炭素	—	28,996	28,611

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成25年度	平成26年度
二酸化炭素	—	562	554

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)		
	平成2年度	基準年度	直近年度
		平成25年度	平成26年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6	—	1,408	1,756

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)		削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO ₂					0
非エネルギー起源CO ₂					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量			-		0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

製品1トン当たりの排出量

単位：排出量 (t-CO₂)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 2 5 年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成 3 1 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	28,996	12,240	2.37	5.9	35,693	16,000	2.23
非エネルギー起源CO ₂	562	12,240	0.05	20.0	692	16,000	0.04
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類	1,408	12,240	0.12	-16.7	2,228	16,000	0.14
総排出量	30,966	12,240	2.53	4.7	38,613	16,000	2.41
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	0.97	5.2	-	-	0.92
目標設定の考え方	エネルギー起源及び非エネルギー起源CO ₂ : 原単位ベース年1%の削減 フロン類排出量 : 生産量対比 0.01%以下の排出量						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	エネルギー原単位 (LPG+電気) の低減	生産時のCO ₂ 原単位 1.90以下	反応・蒸留系運転方法の改善 廃水工程の運転条件適正化
2	フッ素化合物類の分解業務の適切な対応	処理依頼に対して100%対応	在庫品と入荷品の処理バランスを取ながら効率処理実施。
3	HFC製造に伴う温暖化ガス排出の削減	排出量を生産量×0.01%以下	サブリング方法の適正化 容器管理方法の改善 製品ポリッシャー交換頻度低減
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み (環境価値の活用等)

	種類	合計量
1		
2		
3		

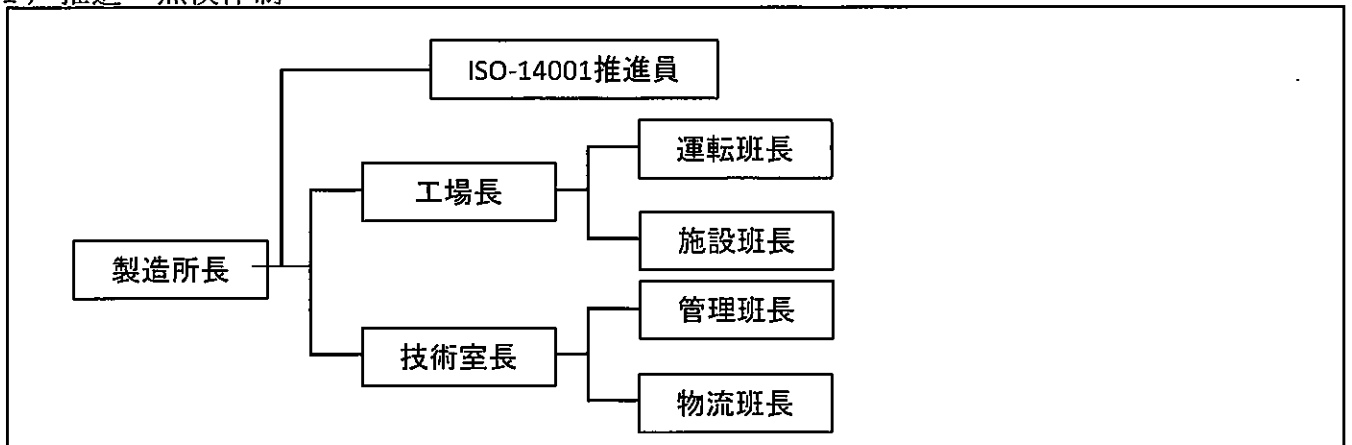
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	フロン排出抑制法に則したフロン類使用機器管理及びフロン再生システムの構築	法令順守100%	対象点検機器及び点検内容の明確化 人材育成
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制



(2) 実施状況の点検・評価

ISO-14001推進員を中心として、毎年温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検および問題点の検討を行う。

この検討内容を、年度の環境目的及び目標の設定に反映させ、継続的な向上を図る。

(3) 計画書等の公表

製造所への備え付けによる閲覧